



白聖

はくあ 第5号 令和5年6月28日発行



【進路行事紹介】

◀ 3学年希望者対象

総合型選抜・学校推薦型選抜集会②

6月20日（火）

令和6年度入試において、総合型選抜・学校推薦型選抜の受験を考えている生徒に対し、試験の方式や種類、準備すべき書類の説明をすることで、具体的に何をいつまでにどの水準まで取り組むべきかを周知するために、集会①に引き続き実施しました。

【主体性】【自己管理能力】【自己実現力】

（集会に参加した生徒の感想）

- これからの日程が具体的にわかった。なんでも期限を守るのが、まず第一歩だと思った。
- 改めて推薦を志望する決意が高まったと同時に、受験勉強と並行して険しい道のりを歩んでいくことを頑張りたいという気持ちが高まった。
- 高校受験の面接では、質問の答えを準備して臨んだが、大学受験ではその時の質問に合わせて事前にまとめていた自分の思いや考えを、自分の言葉で話すのが基本だとわかった。
- 手続きの詳細や志望理由書において大事なポイントがわかりました。そのポイントを踏まえて自分の志望理由書を見直そうと思います。これから先への士気が上がりました。
- 面接も志望理由書も自分の言葉で説明出来ないといけないので、自分が研究したい分野についてもっと調べて、しっかりと知識を身につけることが必要だと実感しました。今まで志望理由書を何度か書いたときは、知識がまだ足りていないというものもありますが、そもそもの文章の書き方で悩むことが多かったです。語彙力の少なさから同じ表現の繰り返しになってしまうので、今回の最後の方でもあったように、自分が研究したい分野の専門的な本だけに特化するのではなく、本をもっと積極的に読むようにして語彙や広い知識を吸収していくようになります。

- 「自分の言葉で相手に伝わるように話す」という話が刺さりました。今まで書いてきた志望理由書は、先生や親の言葉、大学のホームページからとってきたものが多かったので、やりたいことや目指していることをもっと調べて、自分の頭でまとめて整理しようと改めて思いました。一般選抜を受ける人よりもたくさんやらなければいけないことがあり、のんびりしてられないというプレッシャーを常に持ちつつ、生活態度に気をつけ、勉強により力を入れていきたいです。
- 今回は前回よりも詳しい話を聞いたのですが、今まで曖昧だったことや自分がしなければいけないことが明確にわかった気がします。決め事、調べ事は他の人に決めてもらわず、自分でよく調べて漏れのないようにしていこうと思いました。また前期中間考査が終わりましたが、これからそれ以上に勉強して、堂々と大学を志望できるように努力していきたいです。
- 前回の集会の時から総合型選抜や学校推薦型選抜を受けるか受けないか悩んでいましたが、「最後は自分が決める」や「決めたら走りぬだけ」という言葉に後押しされて、これからの道への決意ができました。自分を信じて頑張りたいです。
- 具体的な日程が分かり、個別指導申込書に書く内容がわかったおかげで、集会が終わった直後から演習室のファイルを利用して総合型選抜(A0)入試の資料を集めはじめることができた。面接や小論文の雰囲気などをうかがい知ることができたのでこれから総合型選抜(A0)入試対策に向けて頑張ろうと思う。
- この集会を経て、総合型選抜・推薦を受けるんだという実感が改めて湧き、これからが正念場だと再び決意を固めることが出来たと思います。面接や志望理由書作成において大切なことを新たに教わったので、それらを踏まえ自分の言葉で具体的に表現できるよう、また自分を見つめ直そうと思えました。

(集会の内容(一部抜粋))

「総合型選抜」必要な書類と流れ



- ① 個別指導申込書・志望理由書 提出 (6/29(木)〆切)
- ↓
- ② 集会③ (指導教員決定の通知) (7/18(火))
- ↓
- ③ 指導教員に挨拶 (7/21(金)までに) + 指導開始
- ↓
- ④ 総合型選抜入試出願届 提出 (出願開始35日前〆切)
*2階職員室前のBOXにあるので各自で持っていく。



「学校推薦型選抜」必要な書類と流れ



- ① 個別指導申込書・志望理由書 提出 (6/29(木)〆切)
- ↓
- ② 集会③ (指導教員決定の通知) (7/18(火))
- ↓
- ③ 指導教員に挨拶 (7/21(金)までに) + 指導開始
- ↓
- ④ 学校推薦型選抜入試出願希望願 提出
(指定校: 8/23(水)〆切 公募: 9/4(月)〆切)
*2階職員室前のBOXにあるので各自で持っていく。
- ↓
- ⑤ 推薦委員会 (指定校: 9/1(金)開催 公募: 9/22(金)開催)



- ・【志望理由書】は面接をするための準備材料
⇒「会ってみたい」「話してみたい」と思わせる書類
- ・【面接】は直接「想い」を伝える貴重な機会
⇒ 相手とイメージを共有する会話のキャッチボール。

面接は「対話」

- ・あなたの一方向的な発表会ではない。
- ・対話だからこそ、**想定通り・練習通りにはいかない。**
- ・その場で「互いに理解し合う」という意識。

理解してもらうためには



- ・相手の質問内容を「正確に理解」すること。
- ・自分の伝えたいことを「自分の言葉で語る」こと。
- ・自分の語った内容を「相手に想像してもらう」こと。

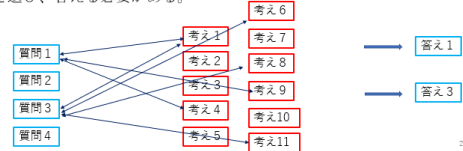
会ったことのない人に対して、限られた時間で、自分の考えを会話の流れや相手に合わせて伝える能力(コミュニケーション能力)が求められる。

他人の言葉は見抜かれる

- ・大学の募集要項、大学案内、ホームページに書かれている言葉をそのまま使わない。
- ・自分が理解した上で、相手が聞いて理解できるように「話し言葉」で伝えること。特にカタカナ語は注意が必要。
- ・相手に「具体的にはどういうことか」と聞かれたときに、「自分で説明できる言葉」で語り、相手に想像してもらうことを意識する。

一問一答(1対1対応)ではない

- ・1つの質問に対して、答えは複数存在する。
- ・1つの答えに対して、質問は複数存在する。
- ・その場の質問や状況に合わせて、自分の考えをまとめ、言葉を選び、答える必要がある。



読書のすすめ

良き書物を読むことは、過去の最も優れた人達と会話をおこなうようなものである。

ルネ・デカルト

進路選択とは

自分自身と「向き合う」こと。
世の中には、様々な価値観や考え方をを持った人たちがいる。
自分で選択した道に、明確な正解・不正解など存在しない。

お互いの立場や意見に敬意を払い、
自分の考えをしっかりと持ち、
自分の考えを相手に伝えられるような人になって欲しい。

高 自律自啓・誠実勤勉・和協責任

青森高校で過ごしてきた3年間、様々な活動があったと思います。
多くの活動経験を通して、
あなたはどのような能力を身に付け、成長してきましたか。

総合型選抜・学校推薦型選抜はそれらを伝えて、評価してもらう、
絶好の機会です。あなたの想いを届けましょう。

目標に向かって、無限の可能性を信じて、恐れず、全力で取り組もう。